



Contents

- 1 学長年頭所感
- 2 学長年頭所感
- 3 歯学部交換研修プログラム
- 4 ヴィクトリーナチャレンジ
- 5 第31回明海祭
- 6 あけみ英語村
- 7 明海スポーツ
- 8 保健医療学部ワンデイセミナー

学長年頭所感

内部質保証の時代をどう生きるか

学長 安井利一

2019年亥年の新年を迎えました。明海大学の学生と教職員の皆様、そして同窓会、教育後援会をはじめとして明海大学を支援してくださる多くの皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

今年の4月から、明海大学浦安キャンパスでは新たな取り組みが始まります。一つは、保健医療学部口腔保健学科のスタートです。もう一つは、体育会女子バレーボール部の

創設です。保健医療学部口腔保健学科は、1970年に創設された歯学部において蓄積された教育と臨床の英知を注ぎ込み、東日本の私立大学としてはじめての4年制養成課程を作り

上げました。高度な知識と技術を有した歯科衛生士の育成は、超高齢社会のわが国において、口腔保健の向上を通じて、入院患者の在院日数の減少、誤嚥性肺炎の予防、そして低栄養高齢者の抑制等、健康な高齢社会の実現に大きな力を発揮します。そして、医科歯科連携医療の基礎を作る職種として極めて重要な立場となります。

また、女子バレーボール部は、千葉県の高등학교では、多くの女子高校生がバレーボールに青春を捧げながら、卒業後にバレーボールを続けられる大学が極めて少ないという現状を打破

するために創設することになりました。大学は、日本社会の基礎をなす多種多様な人材を養成する場所です。歯科衛生士もバレーボール選手も、将来に自分の姿を求める若人に、明海大学がその場を提供するということです。新たな一年の始まりを新学部と新クラブの創設で始めたいと思います。

さて、一方で、平成30年11月に出された中央教育審議会答申「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」に示された2040年に描かれた高等教育の姿は私立大学には相当厳しいものがあります。平成30(2018)年に生まれた子どもたちが、現在と同じ教育制度の中で大学の学部段階を卒業するタイミングとなる年が2040年です。2040年の18歳人口は88万人に減少し、現在の7割程度の規模となる推計が出されている状況の中で、社会人および留学生の受入れ拡大が図られていくことを予測しています。大学は激しく変化する世の中において、同じように激しく変化する組織です。それだけに大学こそが学校組織の中でもっとも敏感でなければならない組織かもしれません。【2面へ続く】



安井利一学長

【1面から続く】私たち明海大学は、教育の内容に建学の精神の社会性、創造性、合理性という3つの基本軸をしっかりと位置づけた上で、学生や保護者の皆様の期待に応えていかなければなりません。学生諸氏や保護者の皆様と良好なコミュニケーションをとりながら、学生の夢の実現に対して、教員と職員と保護者が一体となって支援することが私の基本的な教育姿勢です。教育後援会の地区懇談会においても述べておりますが、「教職員と学生そして保護者の皆さんとの距離を短くし、コミュニケーションを図りながら、お預かりした子どもたちの夢の実現を皆で支援すること」が私の教育理念です。おおむね18歳から預かって、卒業して社会に出て、自立した満足のできる人生を送る基礎を培う責任は大学の教職員という職を選んだ以上、逃れることはできません。

教育の質保証と可視化

大学の内部質保証の重要性が問われています。教育の質保証とその可視化には大きく2つの方向性があります。一つは浦安キャンパスでは就職状況であり、歯学部では歯科医師国家試験合格状況です。学修した成果を社会に還元するには、誰もがしっかりとした職業を持つことが大切ですし、かつ企業や社会が求める人材を追求していくことが教育の成果というものです。就職率では、昨年目標である就職率95%を超え、保護者の皆様には大変高い満足

度を得ることができました。今年も、続けて高い就職率をあげるようにキャリアサポートセンターを中心に、教職員が一人ひとりの学生を大切にそして近くに置いてお世話をするという方針を貫く覚悟です。もう一つの教育の質保証は、卒業の前に、明海大学で学修すると子どもたちがこのように変化するというように、教育力を子どもたちの資質能力の向上度で評価することです。言うまでもなく、この評価には外部試験等を用いなければなりません。外国語学部では、日本語、英米語そして中国語学科が外部の語学試験を利用して、子どもたちに対する教育力を示すことにしており、ホスピタリティ・ツーリズム学部ではTOEICを評価基準にしています。同じように、経済学部においては、経済学検定や日商簿記試験を利用した教育の質保証を明示しています。不動産学部では、宅地建物取引士だけではなく、さらに不動産鑑定士をめざすような進展が望まれます。歯学部においては新カリキュラムが進行中、コアカリキュラムや歯科医師国家試験出題基準の改訂に基づく学修内容の確認、そして宮田侑相談役に大変なご支援をいただき完成したシラバステストシステム(STS)の導入など主に教育面で新たな取り組みがなされてまいりました。また、分野別認証評価の方向や臨床実習終了時のOSCEの方向性など大きな課題も目前に提示されています。また、高

度で優れた臨床の知識と技術を兼ね備えたスーパードクターをめざす大学院「高度口腔臨床科学コース」も、さらに世界に誇る生涯研修(CEプログラム)と合同での展開を図っており、歯科医師臨床施設として評価の高いPDIとの連携も進めていきます。

新学部と新部活動

今年からは、口腔保健学科の創設に伴い、我が国で初めての歯科衛生士を対象にした生涯研修をスタートさせます。生涯研修においても、確実に我が国の歯科医師と歯科衛生士を導くシステムを作っていきます。さらに、女子バレーボール部を含めて、体育会・文化会活動においても、優秀な監督・コーチの下、国内外での活躍をめざします。また、研究活動においても倫理性を持って推進していきます。医療においては歯学部の附属病院やPDIでの患者満足度の向上を図ります。また、別科日本語研修課程とアカデミック日本語の教育課程を通じて、グローバル社会を支える優秀な留学生の育成にも力を注ぎます。

浦安キャンパスも坂戸キャンパスも、とにかく大学として内部質保証の時代を率先垂範する教育機関であり続ける力強さを持って臨みたいと思います。今年もまた教職員全員の力を結集するとともに、教職員一人ひとりが素晴らしい年になるよう努力します。



歯学部 交換 研修プログラム

北京大学口腔医学院の研修生と交流を深める

本学歯学部は、全国の歯学教育機関の中でも屈指の「国際的な歯科医師を育成する環境」を整え、海外協定校との相互交流に力を入れている。交換研修プログラムはその大きな特色のひとつであり、在学中に諸外国の歯科医学の現状を学ぶことができる奨学海外研修制度を設けるとともに、研修に参加した学生が海外から研修生を迎え入れることで、継続的かつ相互的な交流が実現できるプログラムとなっている。

11月22日から25日にかけて、中国の北京大学口腔医学院から研修生10人とインストラクター1人を受け入れた。研修生らは24日に坂戸キャンパスを訪れ、本学教員による国際交流や教育・研究などに関する講義を受講した後、付属病院を見学した。昼には教職員らによる歓迎パーティーが催され、和やかな雰囲気でも歓談する姿が見られた。なお、研修生らの世話役は、今年の8月に北京大学口腔医学院での海外研修に参加した本学在学学生5人が務め、互いの国の歯科事情について情報交換するなど、学生間の交流も活発に行われた。

研修生からは、「付属病院見学や多くの学生・教員と交流し、とても勉強になった」「今後もこのような交流が続いてほしい」といった声が聞かれ、実り多い研修となった。



レーザー手術の研修をする研修生たち

歯学部 公開講座

「慢性の痛みに対する運動療法—腰痛と肩こりを中心に—」

坂戸キャンパスでは、主に健康や医療を題材とした公開講座を毎年開

催している。

今年度は、12月8日に川越西文化会館（メルト）で、福島県立医科大学医学部整形外科学講座・疼痛医学講座の矢吹省司教授が「慢性の痛みに対する運動療法—腰痛と肩こりを中心に—」をテーマに講演した。

会場には約100人の参加があり、熱心に耳を傾けた。矢吹氏は腰痛と肩こりの病態や原因、手軽にできる運動療法について、具体的な症状や実演指導を交えながら一つひとつ丁寧に解説した。

講演の最後に行われた質疑応答では、慢性の痛みへの不安に対して多くの質問が寄せられ、矢吹氏からは、その症状や改善方法に関して具体的な回答がなされた。

来場者からは「痛みや病気への向き合い方についてとても参考になりました」などの声が聞かれ、大好評のうちに終了した。



講演する福島県立医科大学の矢吹氏

ヴィクトリーナ チャレンジ

前全日本女子バレーボールチーム代表監督 眞鍋政義氏が講演

10月27日、浦安キャンパスで、一般社団法人CEOスポーツ・ファウンデーション主催「ヴィクトリーナチャレンジ」が開催され、講師としてヴィクトリーナドリームスから、前全日本女子バレーボールチーム代表監督を務めた眞鍋政義氏（株式会社 姫路ヴィクトリーナ取締役ゼネラルマネージャー／明海大学客員教授）とロンドン五輪銅メダリストの大友愛氏を招き、講演会が行われた。本学と株式会社 姫路ヴィクトリーナ（以下、姫路ヴィクトリーナ）は2018年7月に連携協力協定を締結しており、今回の講演会は本協定に基づく活動の第一弾となる。ヴィクトリーナドリームスは、姫路ヴィクトリーナが擁するプロバレーボールチーム「ヴィクトリーナ姫路」で監督を務める竹下佳江氏を中心としたユニットで、子どもたちに夢や感動を与えることを目的にイベントの企画を行っ

ており、この日は浦安市の中学生ら約200人が参加した。

講演会では「マネバ式ゴールデンエイジの育て方ー今日から実践できるトップアスリートのカラダ作りを楽しく学ぼう！」をテーマに、多くのトップアスリートを育ててきた眞鍋氏から、栄養と睡眠がパフォーマンスに及ぼす関係性について話があった。また、大友氏からは、実際に取り入れている栄養学に基づいた食事のレシピについて紹介があり、自身の経験を踏まえながら分かりやすい説明がなされた。これまで輝かしい実績を残してきた眞鍋氏と大友氏から直接話を聞ける貴重な機会とあって、参加者は真剣な表情で2人の話に聴き入っていた。また、講演会

終了後は体育館に場所を移し、「森永乳業杯TOUR OF VOLLEYBALL 2018千葉大会」が開催された。眞鍋氏からはレシーブ、大友氏からはブロックの指導がなされた後、チームをつくり熱い試合が行われた。

本学と姫路ヴィクトリーナは今後もともに協力しながら、地域における学術、文化、スポーツの活動を通じて、有為な人材の育成とより豊かな地域社会の発展に寄与していく。



講演をする眞鍋氏(右)と大友氏

HT学部の授業でメキシコ、エジプト大使が講演

10月31日にメキシコ合衆国のカルロス・フェルナンド・アルマーダ・ロペス駐日大使が、11月1日にエジプト・アラブ共和国のアイマン・アリ・カーメル駐日大使が浦安キャンパスを訪問し、ホスピタリティ・ツーリズム学部の学生に講義を行った。

メキシコ合衆国のアルマーダ駐日大使は1年生に向け、メキシコの世界遺産、観光資源、経済などについて



メキシコ合衆国アルマーダ駐日大使

話し、講義後には学生から積極的に質問が寄せられた。

今回の講義は、安井利一学長の依



エジプト・アラブ共和国カーメル駐日大使

頼によって実現。本学歯学部とメキシコ州立自治大学歯学部は30年を超える長年の友好関係を築き、学生の相互交流も活発に行っており、メキシコ合衆国とは深い関係にある。

続いて、翌日にはエジプト・アラブ共和国のカーメル駐日大使が2年生に向けて講義を実施。観光が主要産業であるエジプトにおける日本の支援など、エジプトと日本の関係やエジプトの政治、経済の現状について説明した。

大使は学生に向け「日本の技術が使われた大エジプト博物館をぜひ、自分の目で見て来てほしい」と話した。

浦安キャンパス

第31回明海祭

浦安キャンパス学園祭「明海祭」が11月3日、4日の2日間にわたり開催された。今回のテーマは「咲」。来場された方々の笑顔を咲かせたいという思いが込められている。

ステージでは、ダンスサークル、吹奏楽部、軽音楽部、ジャズオーケストラ部による演奏に加えて、新たに結成された和太鼓サークル「明打座」によるパフォーマンスも披露され、大きな盛り上がりを見せた。メイン会場には、学生サークルによる出店や留学生連合会による各国料理の販売など、さまざまな模擬店が並び、地域の方々をはじめとした来場者と在学生が触れ合う様子がみられた。

また、教室内展示では、茶道部や生け花サークル、写真サークル、漫画研究部などが、それぞれ趣向を凝らした展示を用意し、来場者を楽しませた。浦安キャンパスを象徴する広大

な芝生ではフリーマーケットが開催され、当日は天候に恵まれたこともあってさまざまな年代の方々が足を運び賑わっていた。

毎年恒例となっているコンサートは「SUPER★DRAGON」、お笑いライブは「銀シャリ」「はんにゃ」「マヂカルラブリー」が登場し、出演者がステージに現れると会場はひととき大

きな熱気に包まれた。

学園祭を終えて、学園祭実行委員長の白石隆信さん(英米語学科2年)は「今年も地域の方々にご協力いただき、無事に明海祭を成功させることができました。ここまで一緒に活動したメンバー、携わってくれた企業の方々や参加団体に感謝の気持ちでいっぱいです」と話した。



和太鼓サークルによるパフォーマンス

浦安キャンパス
公開講座

心に響く防災

—音楽と落語を通じて—

11月4日、浦安キャンパスで2018年度公開講座「心に響く防災—音楽と落語を通じて—」が開催された。

防災一人語り推進グループの

俳優ハンナ・グレース氏、チェロ奏者の中村沙穂氏、宮尾悠氏、落語家の川柳つくし師匠を招き、「文化と防災の合体で防火防災の推進」という

同グループの趣旨に賛同し、東日本大震災の被災地である浦安で、防災を「頭」でなく「心」で感じることを目的に公演を行った。

最初の演目「Ground Zero」では、ハンナ氏

がチェロ演奏に合わせて「9.11」と呼ばれる2001年9月11日に起きたアメリカ同時多発テロ事件に際し、救助活動に携わった女性消防署員の気持ちを綴った詩を英語で朗読した。

続いて、川柳師匠による防災落語「足腰神様」では、2011年3月11日に発生した東日本大震災での津波被災者の実話をもとに、軽妙な語り口で避難訓練の重要性を説き、観客を物語に惹き込んだ。

受講者からは、「音楽に合わせての朗読、防災を題材とした落語は興味深かった」「被災当時を思い出し、防災について考えるよいきっかけとなった」などの感想が寄せられた。明海大学では今後もさまざまなテーマで公開講座を実施し、研究成果の発表や地域貢献を行っていく。



パネルディスカッションの様子

**あけみ
英語村**

14の国・地域の留学生が小学生と交流

11月29日、浦安キャンパスで、足立区との教育連携事業の一環として「明海大学あけみ英語村2018～小学生異文化交流プロジェクト～」を足立区立千寿第八小学校の5年生約80人を対象に実施した。

本学からは安井利一学長を始め、アメリカ、カナダ、ギリシャ、中国、ベトナムなど14の国と地域の外国人留学生約60人と日本人学生約45人、高野敬三地域学校教育センター長、パトリツィア・ハヤシ複言語・複文化教育センター教授らが参加し、「ネイティブ教員によるアイスブレイク」「小学生による日本文化紹介」「各国遊び体験」などの活動を英語で行った。

今回のプロジェクトは、将来のわが国を担う子どもたちに、小学生時

代から英語を中心とした外国語や異文化に触れることを通じて、グローバルな精神や感性を醸成することを目的としており、昨年度に引き続き、2回目の開催となる。

当初、児童たちは緊張していたが、外国人留学生らと昼食を共にするころにはリラックスした表情となり、英語によるコミュニケーションや活動を楽しんだ。足立区からは、工藤信副区長や西貝裕武英語教育推進担当課長らが参加し、児童たちの様子を見守っていた。

参加した児童たちからは、「英語で気持ちを伝えることができ、楽しかった」「外国人ともっと英語で話せるようになりたいと思った」「将来、明海大学に入学したいと思った」などの声が

寄せられた。

足立区とは、2017年1月に連携協力に関する基本協定を締結し、これまでも本学外国人留学生と中学生との交流会を定期的に開催している。この取り組みによって、生徒たちの英語学習に対する興味・関心が高まるとともに、異文化理解が深まるなど、高い教育成果を上げることができた。

明海大学は、今後も足立区と連携したさまざまな取り組みを通じて、地域学校教育の発展に貢献していく。



「小学生による日本文化紹介」の様子

**平成30年度実施
教員採用試験結果**

教員採用試験に7人が合格!

平成30年度に行われた教員採用試験(平成31年採用)に、学生7人が合格した。

本学では、1990年から中学校および高等学校の国語、英語、中国語の教員免許状の取得ができる教職課程を外国語学部を設置して教員養成に力を入れ、多くの優れた教員を社会に送り出してきた。こうした取り組みをさらに推進するため、2016年4月から新たに「教職課程センター」を設

置し、免許状の取得に必要な教職課程の履修、教育実習、教員採用試験、赴任後に求められる授業実践力など、教職に関するさまざまな課題をトータルにサポートしている。東京都教員採用試験に合格した外国語学部英米語学科の椎名花恋さんからは、「中学生のころからの夢を実現することができ、大変嬉しく思う。生徒一人ひとりを思いやり、全力で支えられるよう努力したい」との喜びの感想が聞かれた。

今回の結果を受けて、高野敬三教職課程センター長は「教職課程センターでは、昨年4月にリニューアルオープンした『METTS Commons』において、センターの教職員が一丸となって面接指導、論文指導、教職教養や専

門教養などの指導を教員採用試験直前まで実施してきた。併せて、二次試験対策を8月の夏休み中に実施して、最終合格までの道筋をつける取り組みを展開してきた。こうした取り組みにより、千葉県の中高国語の教員採用に2年連続して合格するという実績を残した。学生が教員になりたいという強い信念のもと、自ら進んで自分の進路を開拓した証左と言える。来年度は、これまで以上の結果を出すべく、学生を支援していきたい」と話した。明海大学では、今後も優秀な教員を世に送るための努力を続けていく。

**平成30年度実施教員採用試験
(二次試験)合格者数[自治体別]**

千葉県	英語	4人
	国語	1人
	小学校全科	1人
東京都	英語	1人
計		7人



METTS Commonsでの学修の様子

明海スポーツ

強豪校相手に健闘！

体育会公式ホームページ <http://meikai-sports.jp>

体育会ヨット部

全日本学生ヨット選手権大会で6位入賞！

11月1日から4日にかけて、愛知県蒲郡沖で「第83回全日本学生ヨット選手権大会」が開催され、体育会ヨット部が総合6位入賞（470級5位、スナイプ級11位）の好成績を収めた。

1日目は3レースが行われたが、強弱のある風に悩まされ、総合7位からのスタートとなった。2日目も風向きが頻繁に変わる難しいコンディションの中、4レースを消化。しかし、3日目は風がなくノーレースと

なり、決着は最終日に持ち越された。総合7位のまま迎えた最終日は、雨が降る中、470級2レース、スナイプ級1レースが成立。470級は前日までの順位を守りきり5位、スナイプ級はひとつ順位を上げ11位、総合6位でフィニッシュとなった。

國府田由隆監督は、「昨年から、出だしの第1レースで失格となるなど、波に乗れないレー

ス展開をしてしまうことが多かった。今回も実力をすべて発揮できたわけではないが、昨年の総合10位を上回る結果を残せて良かった」とレースを振り返った。



体育会ヨット部

坂戸キャンパス

第48回けやき祭

10月6日・7日の2日間、坂戸キャンパスで学園祭「けやき祭」が開催された。第48回となるけやき祭のテーマ「Next Stage」には、本学創立とともに歩んできたこれまでの歴史と伝統を踏まえつつ、変化する時代に適応し、さらなるステップアップをめざしたいという想いが込められている。

学生による趣向を凝らした模擬店、チアリーディング部による華麗

なパフォーマンス披露、人気お笑い芸人「2丁拳銃」「ゆにばーす」によるライブなど、多彩なイベントが開催され、多くの来場者で賑わった。なかでも、毎年好評のクリニカルリサーチ部による「骨密度測定」には多くの地域住民が参加し、学生との交流を楽しむ姿が見られた。また、当日はオープンキャンパスも同時開催され、入試相談後に学園祭を楽しむ受験生の姿もあった。

けやき祭実行委員長の行武宏さん（歯学科4年）は、「平成最後のけやき祭で委員長を務めさせていただき、

皆さんに支えられながら無事終わることができたことを光栄に思う。歯学部の学園祭としてこれからも常に『Next Stage』をめざせるよう後輩にバトンを渡せたのではないかと話した。



チアリーディング部によるパフォーマンス

白菊会懇談会

10月6日、坂戸キャンパスで白菊会懇談会が行われ、会員150人および教職員らが出席した。白菊会とは、医



オーケストラ部の演奏

学と歯学の発展のために、死後、自分の遺体を解剖学の教材として提供することを約束した篤志献体の組織であり、本学創立以来会員数は年々増え続け、現在は延べ1,575人の会員を擁している。

はじめに、過去の献体諸霊に黙祷を捧げた後、草間薫歯学部長と坂英樹教務部長から、白菊会会員の高い志と協力に感謝の言葉が述べられた。続いて、歯科矯正学分野の須田直人教授が「歯並びの重要性」をテーマ

に特別講演を行い、歯周疾患とさまざまな全身疾患との関連性、そして予防策として知っておきたい正しい歯ブラシの仕方や歯並びとの関係について、丁寧な説明がなされた。また、昼食時には、毎年恒例となっている歯学部オーケストラ部による生演奏も披露され、会員らは和やかな雰囲気の中、食事を楽しんだ。会の最後には、解剖学分野の天野修教授からあいさつがあり、来年の再会を願いつつ閉会した。

One Dayセミナー

保健医療学部口腔保健学科を対象に

2019年4月に新設される保健医療学部口腔保健学科を対象としたOne Dayセミナーが11月25日と12月16日に行われた。この学部は、東日本の私立大学では初となる4年制の歯科衛生士養成課程を有しており、年々高まる歯科衛生士のニーズに応えるものになっている。

学科紹介、特色説明、体験授業、ランチタイムセミナーを実施。12月の体験授業では「口腔保健のスペシャリストを目指そう！～いつまでもおいしく食べるために～」というタイトルで、三分一(さんぶいち)恵里講師が口腔と健康の関係を解説した。

歯科衛生士には、すぐにイメージされる歯科医院での業務以外にもさまざまな役割があること、4年制大学で学んだ口腔のスペシャリストとしてさらに活躍の場が広がることなどを説明した。

参加者からは「一人で不安だったが、先生方のおかげで安心して参加することが

できた」先生方がとても温かく、楽しかった」などの声が聞かれた。



歯・口腔と全身の健康との関連性を解説する三分一恵里講師

2019年度入試日程

詳細は必ず入学試験要項をご確認ください。資料請求は本学公式HPから。
<http://www.meikai.ac.jp>

■浦安キャンパス 外国語学部/経済学部/不動産学部/ホスピタリティ・ツーリズム学部/保健医療学部

入試区分	出願期間	試験日	合格発表日
AO入試	3月期	2/25(月)~3/6(水)	3/15(金) 3/16(土)
一般入試	統一試験	1/7(月)~1/18(金)	2/1(金) 2/8(金)
	A方式 (GMM以外)	1/7(月)~1/18(金)	2/2(土)・3(日) 2/8(金)
	A方式 (GMM)		1次 2/2(土)・3(日) 2/8(金) 2次 2/14(木) 2/18(月)
	B方式 (GMM以外)	2/6(水)~2/19(火)	3/1(金)・2(土) 3/7(木)
	B方式 (GMM)	2/6(水)~2/19(火)	1次 3/1(金)・2(土) 3/7(木) 2次 3/12(火) 3/14(木)
大学入試センター試験利用入試 (GMM以外)	A方式	1/7(月)~1/18(金)	2/3(日) 保健医療学部のみ面接試験 2/8(金)
	B方式	2/6(水)~2/19(火)	3/2(土) 保健医療学部のみ面接試験 3/7(木)
	C方式	2/25(月)~3/6(水)	3/12(火) 保健医療学部のみ面接試験 3/16(土)
大学入試センター試験利用入試 (GMM)	A方式	1/7(月)~1/18(金)	1次 1/19(土)・20(日) (大学入試センター試験) 2/8(金) 2次 2/14(木) 2/18(月)
		B方式	2/6(水)~2/19(火)

入試区分	出願期間	試験日	合格発表日
大学入試センター試験利用入試 (GMM)	C方式	1次 1/19(土)・20(日) (大学入試センター試験)	3/14(木)
		2次 3/19(火)	3/22(金)

※ GMM：グローバル・マネジメントメジャー
 ■お問い合わせ 浦安キャンパス入試事務局 TEL 047-355-5116

■坂戸キャンパス 歯学部

入試区分	出願期間	試験日	合格発表日
AO入試	3月期	3/8(金)~3/14(木)	3/19(火) 3/22(金)
一般入試	A日程	1/8(火)~1/17(木)	1/23(水) 1/29(火)
	B日程	2/18(月)~2/26(火)	3/2(土) 3/7(木)
一般入試センタープラス方式	A日程	1/8(火)~1/17(木)	1/23(水) 2/8(金)
	B日程	2/18(月)~2/26(火)	3/2(土) 3/7(木)
大学入試センター試験利用入試	A日程	1/8(火)~1/17(木)	1/23(水) 面接試験 2/8(金)
	B日程	2/18(月)~2/26(火)	1/19(土)・20(日) (大学入試センター試験) 3/2(土) 面接試験 3/7(木)
	C日程	3/8(金)~3/14(木)	3/19(火) 面接試験 3/22(金)

■お問い合わせ 歯学部入試事務局 TEL 049-279-2852